

感 染 症

相双地域感染症発生動向調査週報(2026年第2週)

(令和8年1月5日～令和8年1月11日)

令和8年1月15日

定点報告(上段: 定点当たり／下段: 報告数)、全数報告(報告数)		2025年		2026年			2025年	2024年
区 分	疾 病 名	51週	52週	1週	2週	合計	合計	合計
定点報告	インフルエンザ	26.00	35.33	9.33	4.33	—	—	—
		78	106	28	13	41	2,558	1,616
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	1.33	3.67	2.67	3.67	—	—	—
		4	11	8	11	19	1,139	3,622
	RSウイルス感染症	—	0.50	—	—	—	—	—
		0	1	0	0	0	156	309
	咽頭結膜熱	1.00	—	—	1.00	—	—	—
		2	0	0	2	2	78	337
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.00	1.50	0.50	2.50	—	—	—
		6	3	1	5	6	243	657
	感染性胃腸炎	—	—	0.50	5.50	—	—	—
		0	0	1	11	12	430	610
	水痘	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	10	6
	手足口病	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	15	952
	伝染性紅斑	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	141	0
	突発性発しん	1.00	0.50	—	0.50	—	—	—
		2	1	0	1	1	59	182
	ヘルパンギーナ	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	4	19
	流行性耳下腺炎	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	10	13
	急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	2	9
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2.00	—	—	1.00	—	—	—
		2	0	0	1	1	16	1
全数報告	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	0	0
	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎	1.00	—	—	2.00	—	—	—
		1	0	0	2	2	42	16
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	0	0
	インフルエンザ入院	4.00	4.00	1.00	—	—	—	—
		4	4	1	0	1	39	19
	新型コロナウイルス感染症(入院)	2.00	—	1.00	—	—	—	—
		2	0	1	0	1	56	120
	急性呼吸器感染症(ARI)	90.00	86.67	45.33	51.67	—	—	—
		270	260	136	155	291	8849	—
	つつが虫病	0	1	0	0	0	3	1
	梅毒	1	0	0	0	0	3	6
	百日咳	1	6	0	3	3	141	0

カラー流行表示は、福島県感染症発生動向調査週報(IDWR)の表示をそのまま表示しています。

定点把握疾患	<u>咽頭結膜熱</u> の流行が見られ、 インフルエンザ は今後の動向に注意が必要です。
全数把握疾患	<u>百日咳(学童2名・30代1名)</u> の報告がありました。

インフルエンザ	相双地域及び県(県内総数)ともに前週と比較して減少しました。 本県における令和8年第2週の定点当たり報告数は7. 35と、7週連続で前週の報告数を下回りました。減少傾向が続いていますが、第2週ではB型の比率が3割を超え、増加傾向にあります。再び感染拡大する可能性があるため、注意が必要です。インフルエンザウイルスに感染すると、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が現れ、喉の痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。子どもは、まれに急性脳症を発症し、高齢者や免疫が低下している方は肺炎を伴うなど重症になることがあります。ワクチン接種や基本的な感染対策の徹底をお願いします。
新型コロナウイルス感染症	相双地域及び県(県内総数)ともに前週と比較して増加しました。 年末年始にかけて2週連続で増加しており、全国と比べると報告数が多い状況にあります。年明けの時期に増加する傾向があるため注意が必要です。インフルエンザと同様、基本的な感染対策の徹底をお願いします。
感染性胃腸炎	前週と比べて増加しており、相双からロタウイルスによる感染も報告されています。 感染性胃腸炎は、秋から冬にかけて流行する感染症で、1～3日程度の潜伏期間の後、嘔吐、下痢、腹痛等の症状が生じます。汚染された食品や、病原体が直接口から入ることで感染することから、トイレの後や、調理・食事の前に、石けんと流水で十分な手指消毒を行いましょう。

引き続き感染拡大を防ぐため、咳エチケットや手洗いの励行、場面に応じたマスクの着用など、基本的な感染対策の継続をお願いします。
福島県では、夜間や休日に急な病気や怪我でどうすれば良いか迷った時に、対処方法や受診可能な医療機関について相談できる相談電話窓口があります。
「#7119」福島県救急電話相談 「#8000」福島県子ども救急電話相談 にご相談ください。

(参考・引用) 福島県感染症発生動向調査、感染症週報、2026年第2号